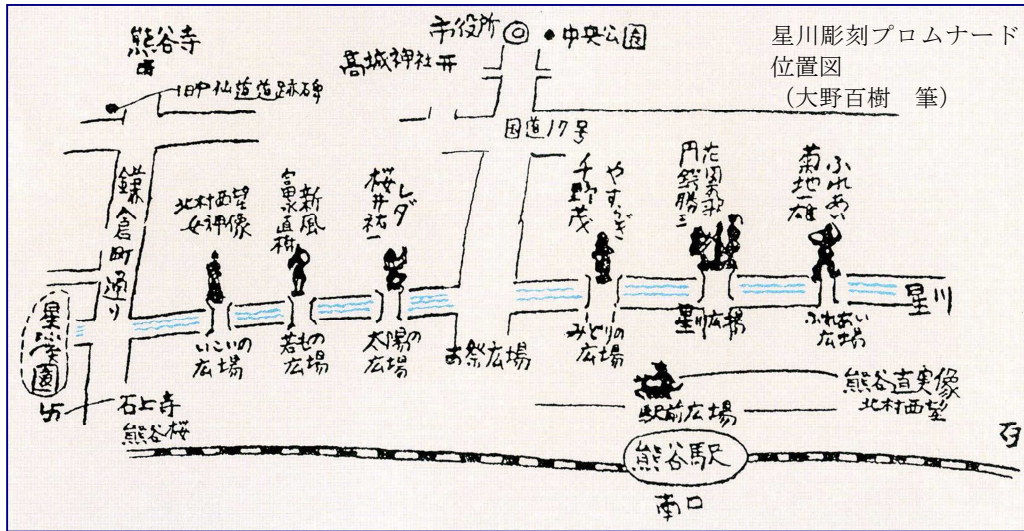


星川ルネッサンス 星川彫刻プロムナード研究会の発足について

熊谷市の市街地を流れる星川には7つの広場があり、一番上流にある「いこいの広場」には北村西望「戦災者慰霊の女神」が昭和50年(1975)、戦災30周年に建立された。熊谷駅前建立された北村西望「熊谷次郎直実像」とともに、星川を印象付ける彫刻通り(プロムナード)として文化芸術の顕彰を進めてきた。

昭和56年(1981)春に「星川に水と緑と芸術を、そしてメルヘンの道に」との願いで熊谷青年会議所などが発案し、市による彫刻像設置事業が決定した。以降、星川彫刻プロムナードが徐々に具現化されることになった。昭和57年(1982)、「太陽の広場」に桜井祐一「レダ」と「緑の広場」に千野茂「やすらぎ」の作品が設置され、大きな注目を集めた。

本年、「戦災者慰霊の女神」の建立から45年を経過し、星川彫刻プロムナードの継承が新たな課題となっている。この度、令和2年12月1日、星川彫刻プロムナード研究会を発足し、彫刻芸術を活かした中心地活性化や、戦災者慰霊のための「とうろう流し」の継続などの課題と向き合いながら、「星川ルネッサンス」をスローガンに、次世代に向けての新たな熊谷市モデルを構想する拠点としたい。



記者会見のご案内

日時 令和2年12月3日(木) 午前11時～

会場 園鋸勝三『花園の歌』彫刻前

(熊谷市筑波2丁目、熊谷駅通りと星川通りの交差点にある彫刻)

発起人 (会見予定出席者)

顧問 増田敏男 (元熊谷市長・熊谷市名誉市民)

会長 藤間憲一 (熊谷商工会議所名誉会頭)

事務局 (研究員) 山下祐樹 (熊谷市立江南文化財センター)

事務局連絡先: 090-1531-7218 (山下)

画像: 現在作成中の星川彫刻プロムナード解説版資料 A4 サイズ両面カラー

(12月1日発行、近隣店舗などにおいて配布予定)

埼玉県
熊谷市

星川彫刻プロムナード

彫刻解説版

熊谷市の市街地を流れる星川には7つの広場があり、一番上流にある「いこいの広場」には北村西望「戦災者慰霊の女神」が昭和50年(1975)、戦災30周年に建立された。熊谷駅前建立された北村西望「熊谷次郎直実像」とともに、星川を印象付ける彫刻通り(プロムナード)として文化芸術の顕彰を進めてきた。

昭和56年(1981)春に「星川に水と緑と芸術を、そしてメルヘンの道に」との願いで熊谷青年会議所などが発案し、市による彫刻像設置事業が決定した。以降、星川彫刻プロムナードが徐々に具現化されることになった。昭和57年(1982)、「太陽の広場」に桜井祐一「レダ」と「緑の広場」に千野茂「やすらぎ」の作品が設置され、大きな注目を集めた。

本年、「戦災者慰霊の女神」の建立から45年を経過し、星川彫刻プロムナードの継承が新たな課題となっている。この度、令和2年12月1日、星川彫刻プロムナード研究会を発足し、彫刻芸術を活かした中心地活性化や、戦災者慰霊のための「とうろう流し」の継続などの課題と向き合いながら、「星川ルネッサンス」をスローガンに、次世代に向けての新たな熊谷市モデルを構想する拠点としたい。

『戦災者慰霊の女神』
北村西望 作
昭和50年(1975)建立

『新風』
荒井新風 作
昭和56年(1981)建立

『レダ』
桜井祐一 作
昭和57年(1982)建立